

令和元年5月27日

各 位

会社名 石垣食品株式会社
代表者名 代表取締役社長 石垣裕義
(コード番号：2901)
問合せ先 経理総務部部長 小西一幸
電話番号 03-3263-4444

エス・アイ・ピー株式会社とのフードビジネスの『メンバーシップ・コラボプログラム - Glocal Mind - Open innovation and Partnership program』の開始について

当社は、現在、ハンズオン・ベンチャーキャピタルとして実績の高いエス・アイ・ピー株式会社（以下「SIP社」といいます。）と提携を結び、フードビジネスの商品及びサプライチェーン機能をパートナーと共有しながら共同にマーケティングと販売を推進させていく『メンバーシップ・コラボプログラム - Glocal Mind - Open innovation and Partnership program』を共同で推進していくことを発表致します。

記

1. プログラムの概要

当社および当社の子会社（以下「当社グループ」といいます。）は従来、自社商品の麦茶・健康茶・ビーフジャーキーの販売を専業とし、販売に関連する付帯事業についても自社内のリソースで取り組んでまいりました。現在当社戦略顧問並びに買収した当社子会社の役員を務める齋藤茂樹氏が代表取締役であり、ベンチャーキャピタル及びインキュベーション事業を専業とするSIP社の事業支援により、インターネット通信販売事業会社、飲食店運営事業会社の子会社化をはじめとして、食品販売事業のサプライチェーンの機能を拡大するとともに、提携による他社商品の代理販売事業の開始、飲食店事業会社との提携によるマーケティングポイント飲食店の出店、デザインパッケージ会社との新商品開拓、営業支援会社との営業エリアの拡大とCRM管理、海外での販売などを積極的にパートナーと共同で事業機能を拡大するとともに、水平パートナーシップによるオープンイノベーションを志向する新戦略を進めてまいりました。



本プログラムをこれまでの方向性をさらに確固たる仕組みとするために、フードビジネス事業についての、ベンチャー企業、地方発企業、海外企業、大手食品会社・食品流通会社他のパートナーと幅広くコラボレーションを拡大することを目的とします。具体的には、SIP社をプログラム受付・審査窓口とし、プログラムに参加する企業の戦略をヒアリングし、当社の事業戦略部門とともに、プログラムに参加しているメンバー企業のリソース・ノウハウをコラボレーションしながら、これまでリーチできていなかった領域を拡大していき、共同でビジネス領域を拡大していきます。フードビジネスでは、地方発でいい食材・商品を持っていながら販路・マーケティング・パッケージ・海外展開などまで対応できないポテンシャルの高いベンチャー企業が多くありました。当プログラムは弊社のオープン戦略を基盤にしながら、SIP社のオープンイノベーションのハンズオン支援を組み合わせることで、共同ビジネスパートナーを広く拡大していき、フードビジネス業界の発展のインフラにしていき、メンバー企業のすべての成長に結びつけてまいります。以上のような考え方に基づいて、オープン・イノベーションとパートナーシップ・プログラムを “Glocal Mind” 日本食のサプライチェーンを地方から海外まで隔々まで広めてまいります。

*Glocal Mind のウェブサイト <https://www.eating.services/>

スタート時プログラム参加会社



SIP

ailand



澁坊石垣有限公司



pañda

TANT
Thinking, making things.

沖縄とアジアをつなぐ架け橋として
DIRECT CHINA 株式会社



以上